

PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

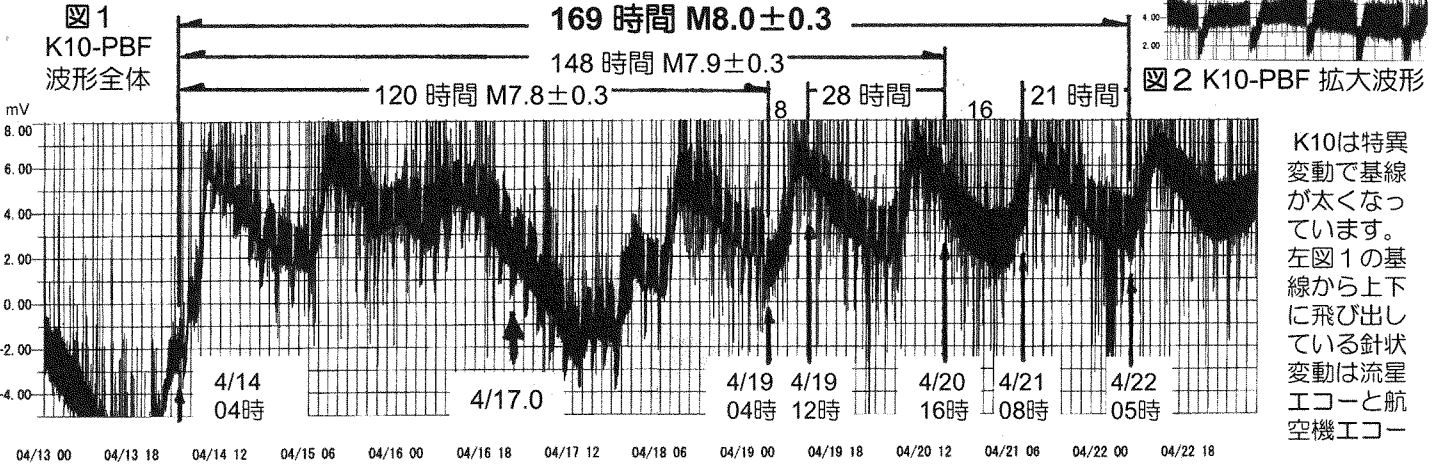
続報 No.298

2021.04/24 (土曜) 15:00 発表

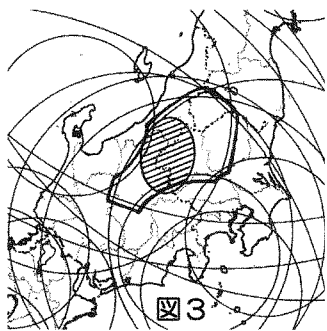
ハヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

No.1778 続報 K10 のPBF 継続時間計=169 時間「M8.0±0.3」に！

PBF変動=Periodic Baseline Fluctuation Anomaly



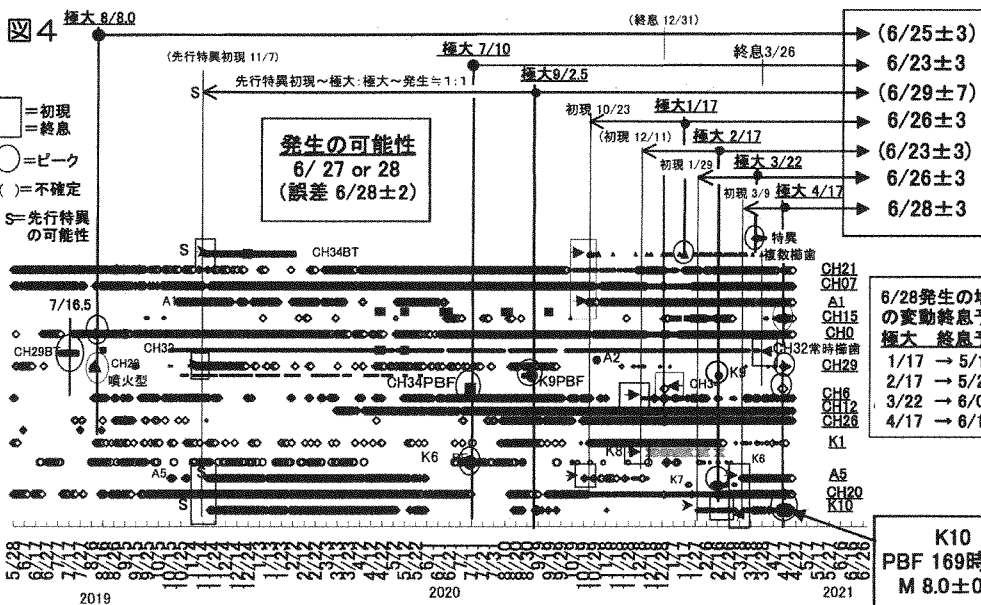
K10は特異変動で基線が太くなっています。左図1の基線から上下に飛び出している針状変動は流星工コーと航空機工コー



- ◆推定領域：図3斜線領域（浅間山・白根山等火山近傍）誤差：太線域内
- ◆推定規模：M8.0±0.3
- ◆推定時期：前兆終息後計算予定
現状最も早い場合 06月27 or 28日
誤差：06月28日±2
06月上旬までに前兆終息確認が必要。今後の観測で修正もあり
- ◇推定地震種：震源浅い陸域地殻・火山近傍地震
- ◇推定発生時刻：午前09時30分 ±1 時間30分
または午後05時 ±3 時間

4/21発表の1778続報No.297で高知観測点のK10観測装置に周期的連続BF（PBF）変動が出現したことを報告致しました。前号ではK10-PBFが148時間観測され、 $\text{Log PBF}(h)=0.5M-1.8$ （経験式）より $M7.9\pm0.3$ が推定されることになることを記しました。しかし上図1のとおり、途中16時間のPBF休止時間がありますが、169時間に及ぶ継続時間が観測されました！4/22の05時以降は本日4/24昼まで55時間再出現は認められません。従いまして、PBFは終息認識されます。途中08時間、16時間のPBF休止があり、全体の合計を規模推定値としてよいかという問題があります。2003年の千葉地震M5.8の際は数ヶ月の期間

中に断続的に出現したPBFを全て合計して規模推定をしたため失敗しました。しかし今回は途中休止時間はありますが、8日間に集中して出現しております。PBF出現継続時間計が169時間=8.06±0.3を示すため（四捨五入しますとM8.1±となりますが）8.0±0.3を推定規模に修正する必要があると考えます。過去例では複数PBFが観測された場合、最高値で調和していました。図1の4/17.0は一番周期が伸び、他の観測装置にも4/16-17に特異ピークがあるため、4/17.0を極大と認識します。06月28日±2発生の場合は06月上旬までに前兆変動終息が観測される筈です。観測し、続報させていただきます。



K10 PBF 169時間 M 8.0±0.3